



村小だより

令和3年1月15日発行

～迎春 2021年「辛丑(かのと・うし)の年」を迎えて～

校長 鈴木 正美

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

2021年(令和3年)は、前日の強風もおさまり、新雪に包まれた家並みが見える新年らしい静かな元旦を迎えました。干支は辛丑、皆の力で新型コロナウイルスに幕を引き、皆の大きな希望が芽生える年になってほしいと思います。皆様も同様の思いではないでしょうか。

さて、6日始業式、子どもたちはいつものように元気に登校してくれました。うれしい限りです。3学期は今年度を「まとめる学期」であり、次へ「つなげる学期」でもある重要な時間です。わずか53日ですが、子どもたちには雪や寒さに負けず、安全で元気に活動しながら、自分の成長を確かめ、補強し、次への自信と希望につなげてほしいと願っているところです。

本年もチーム村小として、全職員で知恵と力をふり絞り、精一杯務めます。皆様には、新しい生活様式の徹底と、これまでと変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

<始業式:校長講話から>

…(略)… 3学期は、1年をまとめ、しめくくる大事な学期です。昔から「終わりよければすべてよし」「有終の美を飾る」など、物事の最後をしっかりとめ、しめくくることは、とても大事なことでされてきました。

学校生活で考えてみると、こういうことです。2学期まで「よく分からないことやうまくできないこと」があったとしても、「1年の終わりである3学期に自分から進んでそれを何とかしよう」と本気になって努力して、少しでも挽回できたならば、今の学年はがんばった1年、胸を張って次の学校・学年にいける」ということなのです。

一生懸命取り組んだことにより、必ず今より「よく分かるように」「うまくできるように」なります。それが、次の学年での大きなパワーとなって、楽しい学校生活に繋がるのです。

そうなるために是非取り組んほしいこと3つを、今年もみんなで確かめましょう。

1つ目は、「進級・進学」の心構えをしっかりとつこと。これからの3か月間、本気になって、自分でがんばろうと決めたことを「やり通すぞ」という気持ちで取り組むこと、そして、4月から、新しい学校や学年で「がんばっていくぞ」というやる気を表すことが、とても大事だということです。(略)

2つ目は、「学習のまとめ」です。学習したことが「分かる・できる」ようになって、次の学年に進まなければなりません。3学期は、1年間の学習の復習が多くなるので、自分の得意な教科はもちろん、苦手な教科の勉強もしっかり復習してください。そして、その成果を確かめる場として、全校では、2月中旬ごろに、国語と算数の学力テストがあります。(略)

3つ目は、「健康づくり」です。3学期は、運動不足になりがちです。エネルギーとしての朝ごはん、給食をしっかり食べることはもちろんですが、縄跳びをがんばったり、休み時間はみんなで遊んだりして身体を動かす運動を心がけ、丈夫な体をつくってほしいと思います。

また、新型コロナウイルス感染防止はもちろんですが、インフルエンザや風邪も流行しがちな季節ですので、マスク、手洗い、空気の入換えなどをこまめに行い、病気の予防に努めましょう。(略)